

新たな中学校の 開校に向けて



令和6年5月 No.14

富士川中学校の校章 デザインを募集しました

校名、校歌、校章、式典行事などを検討する総務部会では、令和6年3月に、町内中学校に通っている生徒を対象に、富士川中学校の校章デザインを、募集しました。

- ・学校の歴史、文化や未来をイメージできるもの
- ・新しい学校のシンボルマークとしてふさわしいもの
- ・他の学校のものや、県や町のもの、商品のマークと似ていないこと

現在の校章



増穂中学校の校章



鯉沢中学校の校章

説明会を開催します

現在、教育委員会では、新校舎の設計を進めています。この基本設計の内容について、町の皆さんに向け、説明会を開催します。

ぜひこの機会に、お越しください。

◇日時 4月30日(火)

午後7時～

◇場所 富士川町民会館

※新中学校開校検討委員会や各部会での検討内容、今後のスケジュールについては、過去の広報ふじかわや町ホームページをご覧ください。

●お問い合わせ

教育総務課

中学校統合準備室

☎ 22-7200

メイクアップで 自己表現

富士川町
男女共同参画推進委員会

5月5日は、日本記念日協会が認定した「メンズメイクアップの日」なのです。

より多くの男性にメイクを通じて自己表現を楽しんでもらうという目的のもと、男子の成長を願う「端午の節句」であるこの日が指定されています。

近年では、メイクは女性がするものという認識が長く続いていましたが、現在は表現の自由が尊重され、性別に関係なくメイクを楽しむことができ、特別なことではなくなってきました。

歴史を振り返ってみると、男性の化粧は決して今に始まったことではありません。例えばエジプトのツタンカーメンの時代では男女問わず日常的に化粧をしていました。日本においても平安時代の貴族は高貴の象徴として、おしろいをしていました。

日本では、メンズメイクはまだまだ一般的とまではいえ

ませんが、その需要は少しずつ高まっているように思います。メイクをすることで清潔感が出て印象が明るくなり、自信や満足感が持てることで、仕事や生活の質を向上させることにつながります。

しかし、男性がメイクをすることに対する偏見や誤解も依然として多くあります。それらを打ち破り、誰もが自己表現の手段としてメイクを捉え、自由に自分らしさを表現できることは、多様性のある社会への大きな一歩にもつながります。

メンズメイクアップの日は、ジェンダーレスな美の追求を促進するきっかけとなり、人々が互いの個性を尊重し合う文化を育むための重要な役割を担っているとも考えられています。

性別にとらわれない多様な表現が広がることは、誰もが自由に輝ける社会の実現につながります。

